

第52回技能五輪 全国大会特集

・清水龍二選手(新潟)が優勝
・厚生労働大臣賞を受賞
・技術部会が競技大会を視察



配管職種の表彰式



清水龍二選手

さるる第四十三回技能五輪国際大会の参加資格を取得しました(詳細は全管連ジャーナル一月

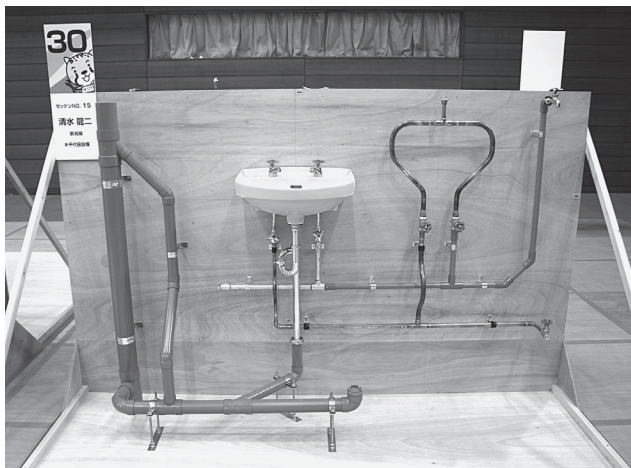
標記全国大会(配管職種)が、十一月二十八日審査、測定審査が行われ、から愛知県豊橋市の豊橋市総合体育館で三十五名が参加して開催された。競技時間は六時間四十分(打切時間七時間)で、当日公表された別掲の課題により配管組立て作業に取り組んだ。



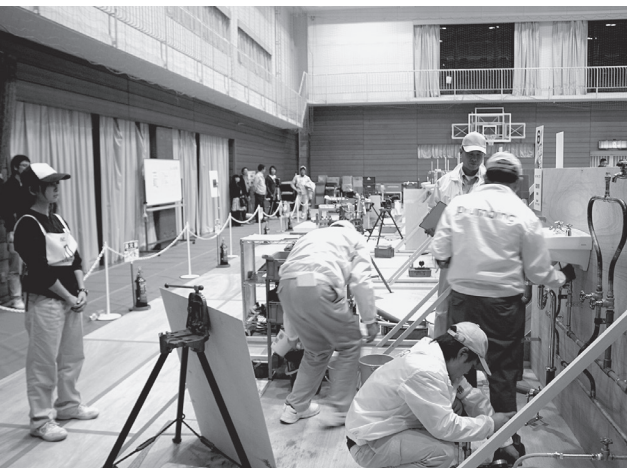
競技の様子



視察に訪れた技術部会と黒澤栃木県団長(写真後列左)



清水選手の優勝作品

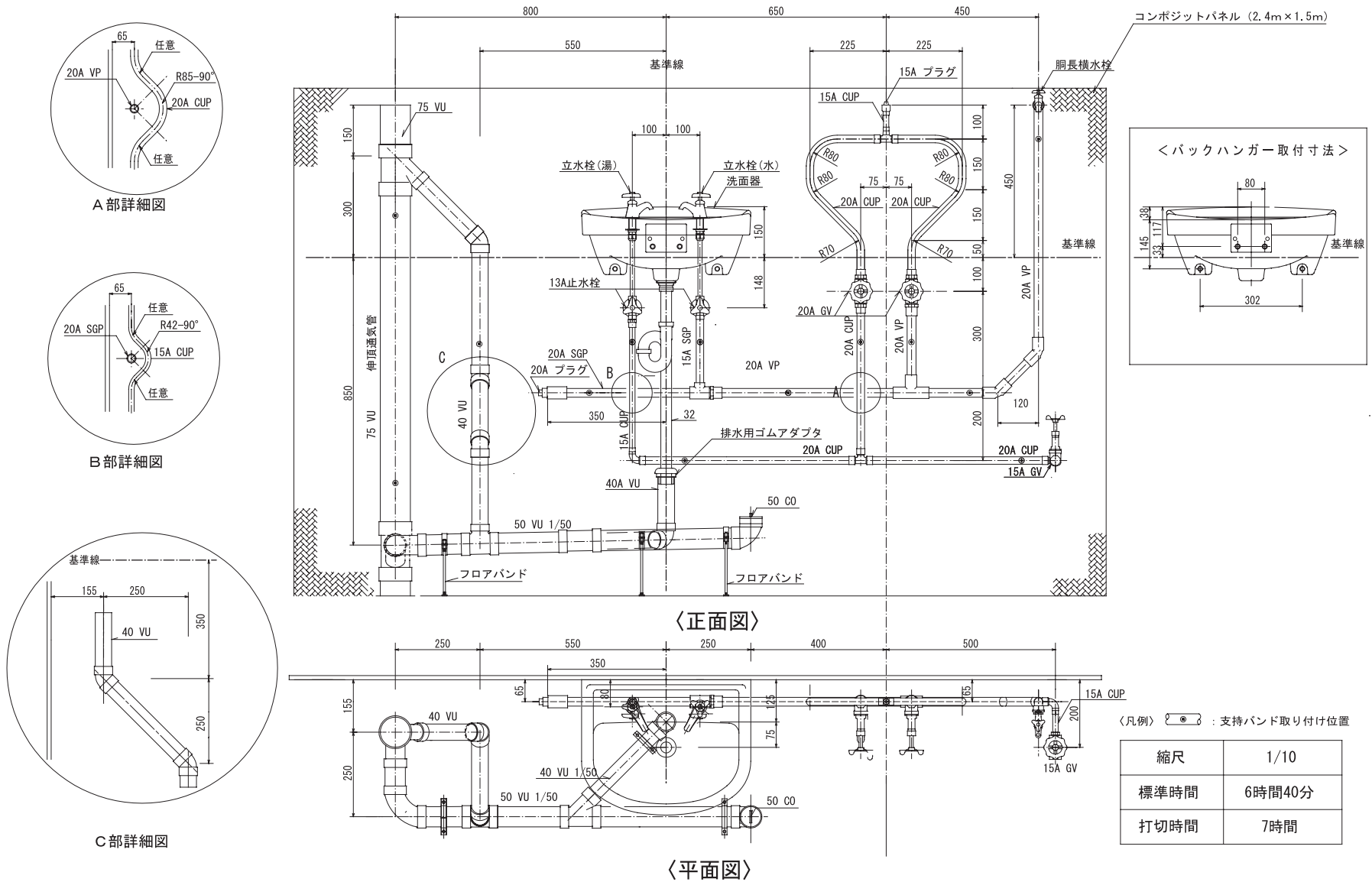


公開水圧審査の様子

号に掲載。
また、大会当日は、川技術担当副会長、佐藤技術部長、和田技術副部長らが視察した。
なお、主催者からの要請に基づき、松本技術委員長、綱田健志氏(東京都・連)が競技委員として課題作成、競技実施運営、採点審査等を行った。次回第五十三回は来年に千葉県で開催される予定。
◎第五十二回技能五輪全国大会入賞者(敬称略)
敢闘賞 曾田涼太(島根・イマックス(株))、根・イマックス(株)、曳野裕也(島根・シンセイ技研(株))、伊藤勇磨(宮城・宮城県管工業協同組合、前田 大(岐阜・日野吉工業(株))、多治見 営業所、柳倉惇志(香川・銅賞 梅川準平(新潟・株) 千代田設備、三澤亮太(山口・株) 桐田商会、千葉ゆかり(岩手・岩手県立産業技術短期大学学校水沢校、鶴田智大(山口・株) 桐田商会。

当日公表

平成26年度 第52回技能五輪全国大会「配管」職種参考課題図





意見交換会

経営委員会は十一月十日、倉林雅人氏の水道局から、第三十四回経営委員会の業務受託事例について意見交換会を実施し、工業協同組合(理事長・た。この意見交換会の様子、当日は、倉林理事長のほか、高山組合とSPC(特別目的会社)を設立した本会賛助会

高山管設備工業協同組合の水道局からの業務受託事例について意見交換を実施

Ⅱ全管連経営委員会Ⅱ



意見交換会

当日は、新潟県中越地震や中越沖地震等の震災後における水道局との連携に関する意見交換会と題して

Ⅱ全管連広報委員会Ⅱ 震災後における水道局との連携に関する意見交換会を実施

広報委員会は十一月四日、業協同組合(理事長・坂日、第五十六回広報委員井隆行氏)と意見交換会を終了後、新潟市管工事を実施した。この意見交



高山・倉林理事長 岐阜県協・荒川理事長



新潟市・坂井理事長 新潟県連・加藤会長

新潟市組合より災害協定の締結や応急復旧体制、復旧に係る費用負担、組合広報活動(組合PR)等における課題や現状についての説明が行われ、委員からは地元での現状を踏まえての意見が交わされた。

年末年始労働災害

防止強調期間始まる

― 無事故の歳末 明るい正月 ―

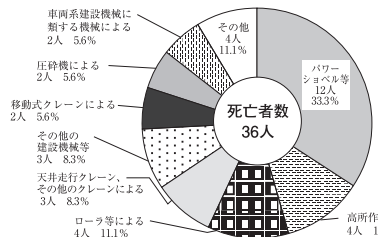
26年度

建設業労働災害防止協会(会長・錢高一善氏)では、厚生労働省・国土交通省の後援により、毎年、十二月一日から一月十五日までの期間を「建設業年末年始労働災害防止強調期間」と定め、無事故の歳末 明るい正月の Sloan ゴンのもと、労働災害防止の徹底を図る運動を展開する。詳細は同協会のホームページを参照して下さい。

建設業における労働災害は、会員各位をはじめ関係者の労働災害防止に寄せる熱意と地道な安全衛生活動により、長期的には着実に減少してきたところですが、近年、建設投資の拡大基調に伴い増加傾向が続いており、このため当協会では、十二月一日から来年一月十五日までを「建設業年末年始労働災害防止強調期間」と定めて積極的な労働災害防止活動を推進することとし、本実施要領を作成いたしました。会員各位におかれては、本実施要領を参考に、経営トップのリーダーシップの下、関係者が一体となって、「経営トップ等による安全パトロールの実施」、「安全衛生管理体制の確立」、「三重大害の防止対策の徹底」、「リスクアセスメントの実施」、「安全衛生教育の徹底」等に取り組みますようお願いいたします。

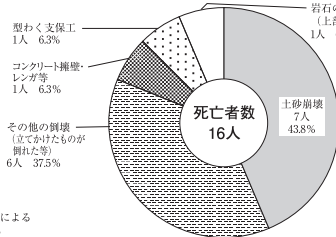
は、本実施要領を参考に、経営トップのリーダーシップの下、関係者が一体となって、「経営トップ等による安全パトロールの実施」、「安全衛生管理体制の確立」、「三重大害の防止対策の徹底」、「リスクアセスメントの実施」、「安全衛生教育の徹底」等に取り組みますようお願いいたします。

◇建設機械・クレーン等災害



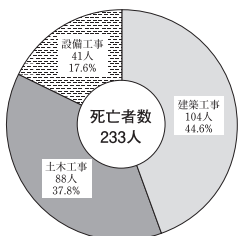
◎前年同期と比較して15人増加して36人となった。建設機械等による災害は、14人増加して30人、クレーン等による災害も1人増加して6人となった。

◇倒壊・崩壊災害

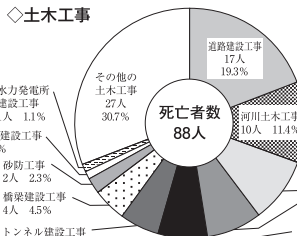


◎前年同期と同数であった。土砂崩壊7人、その他の倒壊で、13人となっていて全体の81.3%を占めている。

工事の種類別発生状況

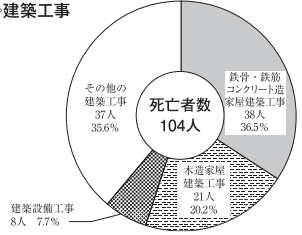


◎建築工事104人(前年同期78人)、土木工事88人(前年同期75人)と、前年より増加している。設備工事は前年同期より2人減の41人となった。



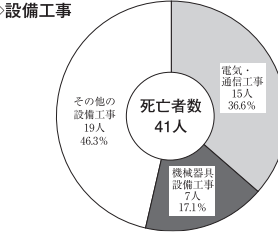
◎前年同期と比較して13人増加している。道路建設17人、河川土木工事10人、上下水道工事8人で、35人となっていて全体の39.8%を占めている。

◇建築工事



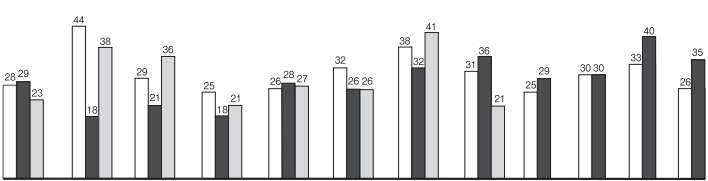
◎前年同期と比較して26人増加している。鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋38人、木造家屋21人で、59人となっていて全体の56.7%を占めている。

◇設備工事



◎前年同期と比較して2人減少している。電気・通信15人、機械器具設置7人で、22人となっていて全体の53.7%を占めている。

■建設業における月別死亡災害(平成24年～26年)

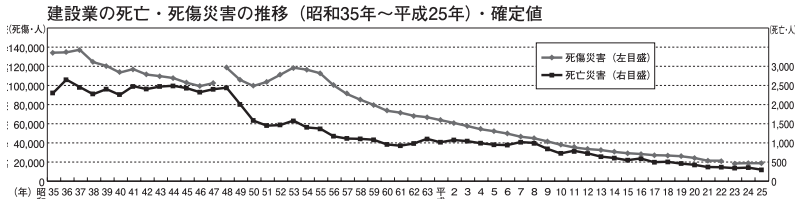


◎平成26年は、2月・3月・7月と災害がやや多かった。(平成24・25年は確定値、26年は1月～8月速報値)

資料

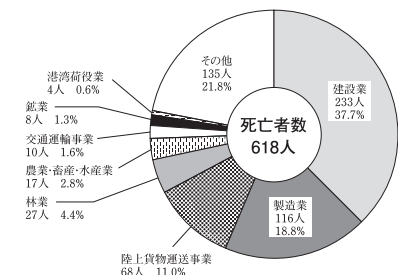
平成26年 建設業における死亡災害発生状況(1～8月) 平成26年9月7日現在速報値

◎割合(%)の合計は端数処理上100%にならない場合がある。



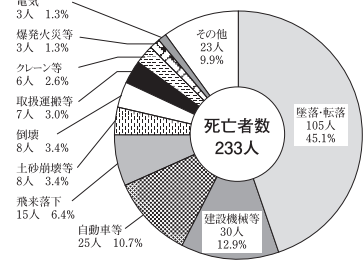
◎平成25年の死亡災害は、24年より25人減少して342人となった。また、死傷災害は116人増加して、17,189人となった。
・昭和47年以前は休業8日以上死傷者による。
・昭和48年～平成22年の死傷災害は「労働者死傷病報告」による。

◇業種別発生状況



◎死亡災害は、前年同期と比較して全産業で45人増、建設業では、37人増加している。また、全産業の中で、建設業の占める割合は37.7%(前年同期34.2%)となっている。

◇建設業における死亡災害種類別発生状況

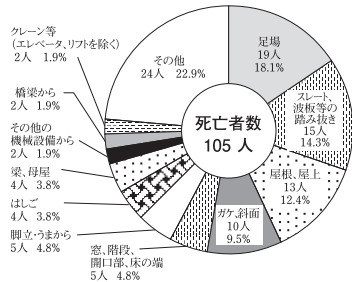


◎墜落・転落災害は、12人増加して105人となり、全体に占める割合は、45.1%(前年同期47.4%)と依然として高い比率を占めている。

◎三大災害(墜落・転落災害、建設機械・クレーン等災害、倒壊・崩壊災害)は157人となって全体の67.4%(前年同期65.8%)を占めている。

三大災害発生状況

◇墜落・転落災害



◎前年同期と比較して12人増加して105人。

◎場所別の状況

・足場:2人増加して19人
・スレート等の踏み抜き:9人増加して15人
・屋根・屋上:5人減少して13人
・ガケ・斜面:1人減少して10人
・窓、階段、開口部、床の端:3人減少して5人
・はしご:8人減少して4人
・梁、母屋:1人減少して4人

(P7「建設業における死亡災害発生状況」(前年同期増減)・参照)

公共工事の品質確保促進へ

公明党に要望

改正品確法に基づく運用指針の策定について適正な納期・工期の設定を説明



十一月七日、衆議院第 二議員会館において、本 会の松田総務担当副会 長、藤川広報担当副会 長、原広報部長・災害対策担 当理事、粕谷専務が公明 党国土交通部会(赤羽一 二議員会館)において、本 嘉部会長(衆院議員)と 今年六月に施行された改 正公共工事品質確保促進 法(公共工事品確法)に 基づく運用指針の策定に 関して、適正な納期・ 工期の設定などを行 うこと等の要望を行 った。

民主党参議院政策審議会と

意見交換会を開催



意見交換会

十一月十三日、参議院 島青年部会長が民主党参 議員第二会館において、 議院政策審議会と意見交 換会を行った。 当日は、民主党の大塚 長・災害対策担当理事、 粕谷専務、松本常務、中 審議会議長、金子洋一 参議院議 員(政策審 議会会長代 理)に出席 頂き、改正 品確法「当 業界の現状 と課題」を テーマに意 見交換を行 った。

全管連ホームページをリ ニューアル

本会は、十二月一日よ り、スマートフォンなど でホームページを見やす るなどの拡充を行 い、併せてデザインの一 新を行いました。なお アドレスの変更はござい ません。

http://www.zenkaren.or.jp/



建設産業担い手確保・育 成コンソーシアムWEB サイトをリリース

(財)建設業振興基金

(一財)建設業振興基 金は、建設産業担い手確 保・育成に係るWEBサ イトを作成した。ホーム ページでは、アクション プログラム(第一版)に 基づく事業の実施状況を はじめ、コンソーシアム に関連する各種情報をタ イムリーに提供してい ます。

http://www.kensetsu-kikin.or.jp/ninate/ コンソーシアムは、建 設産業の担い手確保・育 成について、実績、知見 能力を有し、今後の担い 手確保・育成を推進して いく意志を有する者によ り構成しています。 建設産業団体、関係行 政機関、職業訓練校、教 育機関等の関係機関が一 体となって、建設産業に おける担い手確保・育成 に取り組んでいくための 体制を整備するとともに、若年者の入職促進、 育成のための事業を具 体化し、実行することを目 的として平成二十六年十 月二十九日に設立しまし た。

コンソーシアムは、設 立から概ね五年間を目途 に活動することとし、平 成二十六年度下半期〜平 成二十七年末までに取 り組む事業を「建設産業 担い手確保・育成アクシ ョンプログラム(第一 版)」として取りまとめ ました。同プログラムで は、担い手不足が特に懸 念される野丁場系の技能 者に当面の重点を置くこ ととし、必要に応じて所 要の追加・修正を行うこ とともに、更なる事業展開 について検討を進めてい ます。

小さな掛金 大きな安心 全管連の 福祉共済制度

建専連が平成二十六年 度全国大会を開催

(一社)建設産業専門 団体連合会は十一月十三 日、東京都港区のニッソ ヨーホールで平成二十六 年度全国大会を開催し た。 当日は、才賀清二郎会 長、太田昭宏国土交通大 臣等の来賓挨拶後、基調 講演「工業高校生への魅 力的なアプローチ」(講



師・國馬隆史(公社)全 国工業高等学校校長協会 総務理事)が行われた。 引き続き、特別講演「地 域づくりの担い手として の役割と新たなコミュニ ケーション」百武ひろ子 氏(NPO法人合意形成 マネジメント協会理事 長)が行われた。 全国大会は、建設業の 人材確保に向け、行政、 業界が一体となって若年 者や女性の入職促進に取 り組む等、建設業界は新 たな時代へ向け、本大会 は、安請け合いはしない 「NO」と言える専門 工業業、若年者や女性が 生涯を託せる産業である ことを広く国民にアピールしようとするものであ る。

Quality, Safety & Originality

戸建て、集合住宅に

メータセットシリーズ

逆止弁

メータセット-3 (逆止弁を上から交換可能)

メータセットPS4▲ (上からの配管専用タイプ)

前澤給装工業株式会社

本 社 〒152-8510 東京都目黒区麩番二丁目13番5号
Tel.(03)3716-1511(代表) http://www.qso.co.jp/

ISO 9001 ISO 14001

ポネットの中に見る劇的進化。

MINI x iNDr+E

(専用仕様機)

低燃費のコベルコ!
低炭素社会の実現へ

クラスはミニでも、技術は重機。

その実物を目にすれば、重厚感に驚かされる。
動かしてみれば、まずは静かさ、そして性能や乗り心地に新鮮さを感じられる。

ポネットを開けて見れば、その瞬間にかつてないミニであることを発見できる、重機テクノロジー、iNDr。さらにその進化形iNDr+Eが新たに誕生。コベルコの新型ミニ、アセラ・ジオスペック。この夏、5クラスのニューラインナップが完成しました。

SK20SR SK30SR SK35SR SK45SR SK55SR

MINI EXCAVATOR **ASERA GEOSPEC**

コベルコ建機株式会社 <http://www.kobelco-kenki.co.jp>
東京本社/〒141-8626 東京都品川区東五反田2-17-1 ☎03-5789-2111

会議

第56回広報委員会を開催



標記会議が、十一月四日、新潟グラントホテルにて行われた。

当日は、①平成二十六年度事業（水道週間及びパイプ月間におけるPR活動、機関誌（紙）等の発行等、ホームページの拡充等推進、水道耐震化推進プロジェクト、平成

二十七年事業計画案について協議が行われた。

第34回経営委員会を開催



標記会議が、十一月十七日、ひだホテルプラザにて行われた。

当日は、①平成二十六年度事業（給水装置工事業者の登録更新制度創設、全管連実態調査、建設業振興基金助成金の活用、改正後の品確法第二十二条に基づく「発注関係事務の運用に関する指

針（骨子案）について協議が行われた。

長崎市管工業協同組合が創立50周年記念式典を開催



長崎市管工業協同組合（理事長・岩永堅之進氏）は、十一月十二日、ホテルニュー長崎にて創立五十周年記念式典を挙

当日は、長崎市上下水道局の野田哲男局長はじめとする市の行政機関や

地元来賓が出席された。同組合は、昭和三十

年に創立され、組合事業の強化と所属企業の地位の向上・発展に大きく貢献された。日頃から安全なライフラインの確保に努め、昭和五十七年の長崎大水害や平成七年の阪神・淡路大震災多大な貢献をされました。

平成十九年には長崎市下水道局と災害時における支援協定を締結されるなど、社会生活に不可欠な水道の復旧のため、大きな役割を果たしてきま

式典では、全管連の推薦により藤副会長から厚生労働大臣感謝状が同組合に対し授与された。

臨時総会・理事会・新年賀詞交歓会を1月16日に開催へ

全管連は、平成二十七年二月十三日（金）に東京の品川プリンスホテルで第四十八回事務局研修会を開催予定で

研究修会には講演や活動事例の発表が行われます。組合事務局職員の数多くの出席をお願いします。

平成二十六年二月十三日（金）午後一時～午後七時。品川プリンスホテル・メインタワー（東京都港区高輪三十一～三十三、電話〇三三四四〇一一一）。

第48回事務局研修会を2月13日に開催予定

全管連は、平成二十七年二月十三日（金）に東京の品川プリンスホテルで第四十八回事務局研修会を開催予定で

研究修会には講演や活動事例の発表が行われます。組合事務局職員の数多くの出席をお願いします。

平成二十六年二月十三日（金）午後一時～午後七時。品川プリンスホテル・メインタワー（東京都港区高輪三十一～三十三、電話〇三三四四〇一一一）。

水道布設工事（開削方法）の経費算出ソフトを作成

全管連

本会では水道布設工事（開削工法）の共通費を算出するエクセル形式「経費算出シート」（平成二十六年年度水道施設整備費国庫補助事業に係る歩掛表（厚生労働省）に準拠）を作成し、会員団体に配布した。

実務経験二年程度の方を対象に「水道施設工事の積算指針」の説明会を開催しており、「水道施設工事の積算指針」は全管連が平成二十五年三月に作成したもので、「水道施設整備費国庫補助事業に係る歩掛表（厚生労働省）」の標準歩掛が掲載されている「水道事業実務必携（全国簡易水道協議会）」に準拠して、請負工事費の構成と開削工法の積算について分かり易く代価表を掲載、解説した資料（平成二十四年度公共工事設計労務単価（東京）で例示）である。

みんなの笑顔のために。

わたしたちのビジネスフィールドは、水・住まい・農業です。その中で、お客さまやお取引先さま、地域の方々に笑顔になって頂けるよう、さまざまな商品やサービス、ソリューションをお届けしています。すべては皆さまの笑顔のために。



水・住まい・農業の明日へ。そこにセディアシステム 渡辺パイプ株式会社

業務内容：管工機材、住宅設備機器、電設資材、建築資材、土木資材、農業資材の販売、並びに企画、設計。本社 〒104-0045 東京都中央区築地5-6-10 浜離宮パークサイドプレイス6階・5階 TEL:03-3549-3111 http://www.sedia-system.co.jp

水道工事事故防止アクションプラン（DVD）説明会を開催

富山県連

富山県管工業協同組合連合会（会長・藤川幸造氏）は十一月二十日、富山市において標記説明会を開催され、四十一名が参加した。



ら、アクションプランの趣旨・概要の説明が行われるとともにDVDの上映が行われた。

東京都水道局では労働安全衛生総合研究所の協力の下、水道工事現場で繰り返し発生している工事事故（頻発事故）とその再発防止策としてアクションプラン及びDVDを作成している。

全管連では、東京都安全衛生総業研究所 首席研究員の高木元也氏が携わった同研究所担当研究員による説明会を開催することにより、特に経験の少ない技術者・技能者等を対象に頻発事故事例、事故原因、再発防止策を説明し、事故防止へ

の取組を二層推進している。DVDは受注者の安全教育支援を目的に、コンピュータグラフィックス、写真等を用いて、分かりやすく説明している。

（地元で説明会を希望される団体は、全管連事務局（電話〇三三九四九七三二）までお問い合わせください。）

十一月六日、東京都管工業協同組合において、標記懇談会が開催された。詳細はジャーナル例、事故原因、再発防止策を説明し、事故防止へ

当日は、女性経営者や役員などが①人材育成②事業承継③技術者の高齢化、若年労働者の入職④他の参加者に尋ねたいこと等をテーマに意見交換会を行った。



◎年末年始「休業」のお知らせ
年末年始の全管連事務局業務は、十二月二十七日（土）、一月四日（日）まで休業いたします。

全管連のうごき

11月

12日 長崎市管工業協同組合の創立五十周年記念祝賀会が午後五時より、長崎県長崎市のホテルニュー長崎にて行われ、藤副会長が出席した。

同日 自民党水道事業部、進議員連盟第三回総会が午前八時より、東京都千代田区の衆議院第二議員会館にて行われ、粕谷専務、松本

同日 国土交通省関係の都千代田区の同省にて行われ、鈴木課長が受章者の方々を出迎えた。

同日 第六十六回全管連中国ブロック会議が午後二時三十分より、鳥取県米子市の米子全日空ホテルにて行われ、大澤会長、岩野総務部長、粕谷専務、松本常務、上田局長が出席した。

同日 第九回登録配管基幹技能者講習運営委員会が東京都中央区の日空衛にて行われ、山川技術参与、高橋技術参与、依田主任が出席した。

同日 地域開発研究所連絡会議が午前十一時より、東京都文京区と同研究所にて行われ、上田局長が出席した。

同日 第五十二回技能五輪全国大会が十二月一日まで、愛知県豊橋市の豊橋市体育館などで行われ、松本技術委員長、綱田健志氏、佐藤課長、仲村職員が参画した。

同日 第一回女性経営者・役員等懇談会「東管レディーサミット」を開催

十一月六日、東京都管工業協同組合において、標記懇談会が開催された。詳細はジャーナル例、事故原因、再発防止策を説明し、事故防止へ

同日 第五十六回広報委員会が午後二時より新潟県新潟市の新潟グラントホテルにて行われた。出席者は次のとおりである。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（代理・山作副理事長）村橋委員、津村委員、西嶋委員、濱田委員、青木委員、小泉委員、粕谷専務、松本常務、事務局・上田局長、鈴木課長、阿蘇主任。

同日 第五十六回広報委員会（

第66回全管連中国ブロック
会議を開催

標記会議が十一月十四日、鳥取県の米子市の米子全日空ホテルにおいて開催された。

当日は高橋ブロック長(岡山県支部)、大澤会長(取県連会長)の挨拶の後、①平成二十五年事業報告承認②平成二十五年収支決算報告承認③次期総会開催地の決定について議事を行った。懇親会は、松谷鳥



中国ブロック会議

取県連会長 大澤ののち、岩野全管連総務部長・理事による乾杯が行われ、次期開催地の岡山県より酒井岡山市副理事長の挨拶が行われた。

教育訓練制度ご案内
富士教育訓練センター

富士教育訓練センターは、建設現場で直接「ものづくり」に携わる建設専門工事業社、設備会社、建設関連業団体(建設専門業団体)等が、優れたものづくりはまず「人づくり」からと強い信念の元、関係官公庁及び諸団体のご協力を得て開校した、建設技術者・技能者の教育訓練施設です。

当センターで行う教育訓練は単なる職業訓練や教室での学習、勉強ではなく、現場に即した技術・技能はもちろん、社会人としてのマナー教育も行う「人づくり」プランを提供しています。詳細はホームページを参照して下さい。http://www.fuji-kkc.ac.jp/ ◎お問い合わせ 富士教育訓練センター(静岡県富士宮市根原四九二一八、電話〇五四四―五二一〇九六八)までお願いします。

職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会

富士教育訓練センター



富士教育訓練センターでは、新入社員から熟練者まで、建設業で仕事ができる技能を身につけるための教育を実施しています。富士山西麓の恵まれた環境のもとで、実務教育のための充実した実習の場が用意されています。

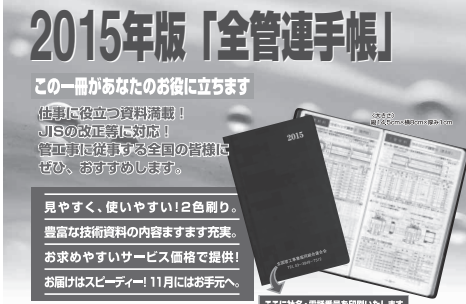


土木・建築・内装など
富士山西麓の恵まれたライルドで
充実した教育を行っています。

～お気軽にお問合せください～

〒418-0101 静岡県富士宮市根原 492-8
TEL 0544-52-0968 FAX 0544-52-1336

URL <http://www.fuji-kkc.ac.jp>



この一冊があなたのお役に立ちます
(他事に役立つ資料満載！)
JISの改正等に対応！
管工事に従事する全国の皆様へ
ぜひ、おすすしめします。

見やすく、使いやすい！2色刷り。
豊富な技術資料の内容がますます充実。
お求めやすいサービス価格で提供！
お届けはスピーディー！11月にはお手元へ。

2015年版 全管連手帳
申込み受付中！
仕事に役立つ資料満載！
JISの改正等に対応！
全管連では、仕事に役の皆様におすすしめします
立つ資料満載「二〇一五
年版 全管連手帳」の申
込を只今受け付けており
ます。
管工事に従事する全国
役立つ基礎資料が満載で
す。

お申込は、
地元組合か、
郵便振替又は
現金書留郵便
にて冊数を明
記のうえ、代
金を送料とも
に全管連まで
お送り下さ
い。
大きさは縦
14・5cm×横

8cm×厚み1cm。
1 頒布価格(消費税込)
一部七四〇円、百部以
上一部につき六四〇円、
五百部以上一部につき五
九〇円。
2、送料
一部〜二部 二八〇
円、三部〜四部 四〇〇
円、五部〜十部 七二〇
円、十一部〜九十九部(申
込部数×一〇円) 十七二
〇円、百部以上送料無料。
3、名入れサービス
五十部以上は、社名等
の印刷をサービスいたし
ます。印刷は社名・電話
番号のみで、住所は印刷
できません。
4、設備工事技術資料
管材料(鋼管、銅管、
銅管・継手の規格、塩化
ビニル管、弁類、継手類、
支持間隔、保温材料、シー
ル材、鋼材)、給水(衛

生器具・水栓の流量・接
続管口径、ボールタップ
の流出量、水栓の流失量、
給水管流量表等)、ポン
プ電動機、消火(設置基
準、放水性能、ホースの
摩擦損失水頭、消火ポン
プ電動機の容量等)、給
湯(電気温水器、湯の使
用温度、ガス湯沸機仕様、
ガス種別表等)、排水(屋
外排水管の基準、衛生器
具排水負荷単位、排水横
枝管・立て管の管径、各
地の最大雨量等)、尿尿
浄化槽(設計人員算定基
準表、合併処理浄化槽の
容量)、冷暖房(湿り空
気線図、負荷計算用基準
値、冷房関係定数、地下
オイルタンク使用、下記
換気(換気量、シックハ
ウス対策)。

全管連管工事賠償補償制度

◎「以前加入した保険に比べて、補償が厚くなり、
掛金も下がりました。」との所属会員が多数いらっしや
います。

◎低廉な価格で、安全確保・安心経営をサポート

◎中途加入も毎月1日補償開始にて随時募集！

商品に関するお問い合わせは、損害保険ジャパン日本興亜(株)

営業開発部第三課(電話〇三―三五九三―六四三六)まで

二〇一二年十一月始期 方は、全管連または損保

分より、「全管連・管工 ジャパンまでお問い合わせ

事賠償補償制度」の低廉 せ下さい。

な掛金・補償がより充実 した制度となっております。

本制度は、工事遂行中 および工事完成・引渡後

に生じた偶然な事故によ った通行人や周囲の住民

など第三者の身体に傷害 を与えたり、その財物に

損害を与えたことにより 法律上の損害賠償責任を

負担することによって被 る損害を保険金としてお

支払いする保険です。 全管連所属企業の安全

確保、安定経営のために より大きく貢献できるも

のですので、是非多数ご 加入をいただきますよう

ご案内申し上げます。 以下の内容をご希望の

1. 商品の概要
(1) 掛金
完成工事高一億円の場
合、プランI(自己負担
額十万円プラン)は、年
額約三十二万円でご加入

平成26年版 加入のご案内
**全管連
管工事賠償
補償制度**
工事中、工事完了後に発生する賠償リスクに
対応した全管連会員の皆様の保険制度です。
目次
●本制度の概要 3
●補償内容 4
●保険金額と掛金 6
●加入の手続き 7
●万一事故にあらわれたら 8
全国管工事業協同組合連合会
<http://www.zenkanren.or.jp/>

(4) 自己負担額を二タイプ
ご用意いたします。
現行制度の身体賠償0
万円・財物賠償三万円プ
ランに加え、身体賠償十
万円・財物賠償十万円プ
ランをお選びいただけま

		プランⅠ		プランⅡ	
自己負担額	身体賠償	10万円		0円	
	財物賠償	10万円		3万円	
工事中の事故	身体賠償		1名 2億円 1事故 5億円		
	財物賠償		1事故 1億円		
工事完成後の事故	身体賠償		1名 2億円 1事故・期間中 5億円		
	財物賠償		1事故・期間中 1億円		
施設の所有・使用・管理に起因する事故	身体賠償		1名 2億円 1事故 5億円		
	財物賠償		1事故 1億円		
年額掛金	完成工事高 5,000万	79,200円		139,200円	
	完成工事高 1億	157,200円		258,000円	
	完成工事高 2億	314,400円		516,000円	
	完成工事高 5億	756,000円		852,000円	

す。
(5) 特約
①作業対象
物担保特約
工事中に直
接作業を加え
ている財物
(他人が所有
するものに限
ります。)を
補償。
事故例 既存
の配管に新た
に管を設置す
る際に、施工ミスにより
既存の配管が割れた等
②施設所有管理者特約
施設(事務所、資材置
き場など)の所有・使用
または管理に起因する事
故を補償いたします。
事故例 管理状況が悪
く、子どもが資材置き場
に立ち入りケガをした等
2. 保険期間
平成二十六年十一月一日
午後四時から平成二十七
年十一月一日午後四時ま
での一年間。中途加入の
場合は、加入月の翌月一
日午前〇時から平成二十
七年十一月一日午後四時
まで。